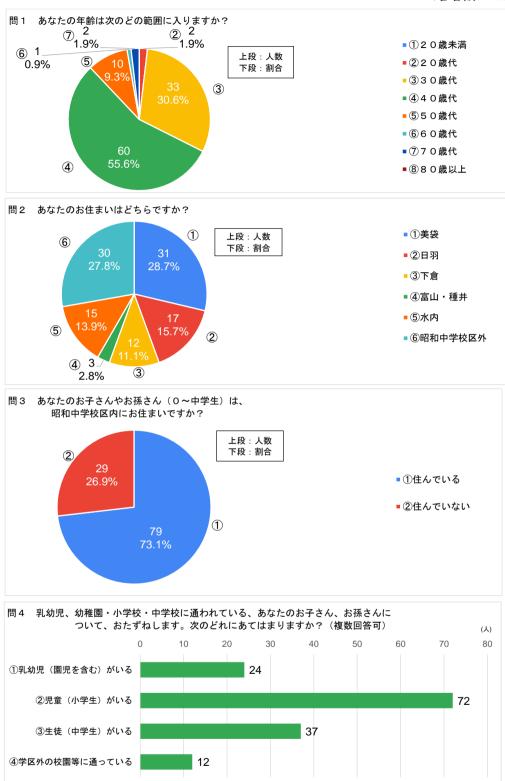
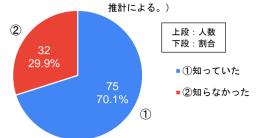
令和2年度 五つ星学園(昭和中学校区)の在り方に関する 保護者アンケート結果

アンケート実施期間 令和2年8月23日~ I 0月2日 回答者数 108人 (世帯数 150程度)



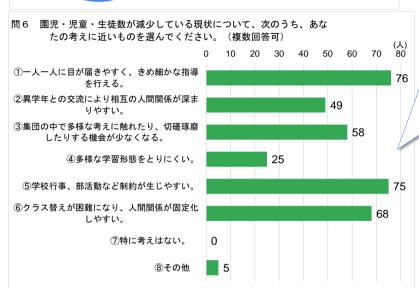
問5 五つ星学園内の園児・児童・生徒数は、令和2年度(206 人)と比べ、令和8年度には5割程度に減少することが予想されます が、ご存知ですか?

(※ 新規に学区外から就園・就学する子どもがないと仮定した場合の 推計による。)



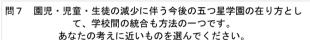
<考察>

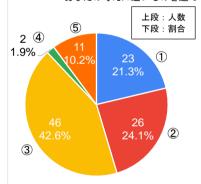
保護者の約3割が「知らなかった」と回答していることから,中学生以下の子どものいない世帯では,少子化の実情をご存じない人の割合が更に大きいと考えられます。



きめ細かな指導がなされるよさと、学校行事・ 部活動の制約という問題点を選択した人数が拮抗。異学年交流のよさもあるが、クラス替えがな く人間関係の固定化、多様な考えに触れ切磋琢 磨する機会の少なさを感じる人が多いです。

よさを生かしつつ,多様な人々との交流の中で 視野を広げられる活動の充実が求められます。





- ■①昭和幼と維新幼、昭和小、維新小、昭和中の5校園を統合し、幼稚園併設型 「※義務教育学校」にすべきだ。
- ②昭和幼と維新幼、昭和小と維新小をそれぞれ統合すべきだ。
- ■③何らかの統合は、やむをえない。
- ④ 統合すべきではない。
- ⑤わからない。

<考察>

義務教育学校が約五分の一, 幼同士及び小同士の統合が約四分の一, 何らかの統合が約四割であり, 「統合」の合計が88%に上る一方, 「統合すべきではない」は1.9%にとどまっています。

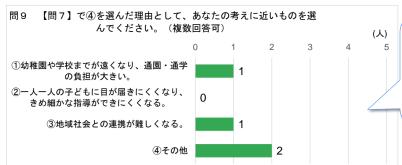
多数の保護者が現在の学校の枠組み(配置)を 見直すべきだというご意見をお持ちであることが 明らかになりました。

【問7】で①~③を選んだ理由として、あなたの考えに近いものを 選んでください。 (複数回答可) (人) 50 ①5・6年生の教科担任制が可能となり、学力 27 向上が期待される。 ②5・6年生から部活動に参加でき、チーム 22 ワーク精神や体力、忍耐力などの向上が期待… ③集団の中で多様な考えに触れたり、切磋琢磨 48 (せっさたくま)したりする機会が増える。 ④多様な学習形態により学習の幅が広がり、学 29 力の向上につながる。 ⑤学校行事、集団活動に活気が生まれやすい。 51 ⑥クラブ活動、委員会活動などの選択肢が増え 31 る。 ⑦その他

<考察>

統合すべき理由として、行事・活動に活気が生まれることや多様な考えに触れ切磋琢磨できることを挙げる人数が特に多いです。

これらは現在の学園の抱える大きな課題と捉えられます。統合は一つの解決策ですが、すぐに統合できないとしても、その解決に向け、学園・行政・家庭・地域が一層連携して取り組むことが求められます。



<考察>

遠距離の通園・通学を心配する声は,統合 反対者のみならず賛成者の中にもあることが 推察されます。何らかの統合をする場合は,ス クールバス等の導入が不可欠と考えられます。

問10 五つ星学園を統合し、幼稚園併設型「義務教育学校」を設置する場合、あなたのお考えに近いものを選んでください。



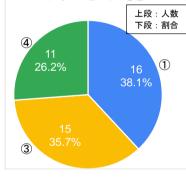
- ■①「施設分離型 義務教 育学校」がよい。
- ■②「施設一体型 義務教 育学校」がよい。
- ③分からない
- 4その他

<考察>

義務教育学校を設置する場合の形態は,施設一体型が全体の三分の一を占め,施設分離型が28.6%と続きます。

問12への回答から、一体型を推す人は少子化の課題の克服につながるというメリット、分離型を推す人は各小学校区の身近な場所に教育機関を残せるというメリットに着目していることがうかがえます。

問11「施設分離型 義務教育学校」として、あなたの お考えに近いものを選んでください。



- ①幼稚園を維新小、小1~4を昭和小、小5 ~中3を昭和中に配置する。
- ■②幼稚園を昭和小、小1~4を維新小、小5 ~中3を昭和中に配置する。
- ③昭和小学校区の3歳児〜小4を昭和小、維 新小学校区の3歳児〜小4を維新小、両学区 の小5〜中3を昭和中に配置する。
- 4)その他

<考察>

施設分離型の場合,幼稚園を維新小,小I~4を昭和小,小5~中3を昭和中に配置する意見と,3歳児~小4を昭和小と維新小に分かれて配置する意見が拮抗。

この点も意見が分かれるところであり、保護者や地域、 学園、行政の考えをすりあわせつつ、丁寧に検討するこ とが求められます。 問12 今後の五つ星学園の在り方について、あなたのお考えがあれば記述してください。

<乳幼児の保護者(上に小・中学生がいる場合も含む)>

- ・昭和中学区内での統合ではなく、他学区との統合も検討してもらいたい。
- ・ 学区外では五つ星学園の取り組みを知らない保護者さんが多数だと思います。まずは知ってもらわないと選択肢にも入らないので、せっかくの 特色をもっと広く未就学児の保護者さんに知っていただきたいです。
- ・第一に、現在学区外からの通園、通学を希望する人がありながら、さまざまな条件で断っているという現状があると伺いました。義務教育学校をどうするか以前の問題だと考えます。昭和学区に来たいと言ってくれる人をまずは全員受け入れる体制を望みます。次に義務教育学校についてです。他との差別化を図る意味でも魅力ある取り組みだと考えます。校舎については、学区外からの通学を積極的に受け入れるためには現在の昭和幼稚園、昭和小学校、昭和中学校に統合すべきと考えます。

次に英語特区についてです。正直、現状で英語特区の成果を感じません。英語特区を掲げて差別化をはかるのなら、授業時間を増やしてでも、さらに英語の時間を捻出するとか、英語のみで実施する授業を行うとか、もっと特化しないと、わざわざ英語のために遠方まで通学するほどの魅力にはつながらないと思います。

最後に、私が地元の人間として学区外からの通学者を見たときに、低学年になるほど、おひさまありきで通っている方がとても多いと思います。O 歳から幼稚園、小学校そして中学校までずっと一貫してこの地域で子育てできる魅力をもっとアピールしたらよいのではないでしょうか?とくに保 育園に入れずに困っている方はたくさんいます。でもこの地域なら、おひさまに通って、幼稚園に通うこともできる。ここをもっとアピールするべきと 思います。

- ・維新と昭和小学校を統合する事は人数も多くなり、賛成だが、なぜこの案がでたのか、情報が少なすぎてこれだけでは判断できないです。先生の数は統合した場合、どうなるのかが知りたい。人数を増やそうとしているのかも気になります。
- ・学区内の過疎化は、今後何十年も続くと思われます。私は、結婚の関係でこちらに越して来ているので、この地区に格段の思い入れはないのですが、日本全体での人口の偏り集中化には、問題あるのでこの地区としても衰退を先延ばしにする、何らかのアクションには賛成します。倉敷市の友人家族の学校や兄の岡山市の学校では、1000人を越えるマンモス校でそれはそれで色々と問題を抱えています。この地区の小中学校幼稚園は、駅前立地もしくは歩いて行けると言う立地に恵まれており、他地区からの子供の通学のしやすい環境ですので、反対意見も多いですが義務教育学校、特色あるカリキュラム学校、特色ある部活動をやっている学校などの答えを早目にだして行ってください。ただ、意見が一つにまとまることは地区の高齢者住民を含めてないと思うので、まとまらずに延々と時間がかかり10年たっても何も進まずは愚策なので、全員一致のまとまりを目指さすのは諦めて失敗を恐れずに早目に何かしらの大きな決定を期待します
- ・児童数が減少している状況で何らかの統合はやむをえないと思います。その中の選択肢として義務教育学校という手段は一つの案として良いと思いますが、施設分離型の場合は義務教育学校として統合する意味が無くなると思います。メリットとして小中ギャップの緩和や異学年交流等を挙げていますが、施設を分離した時点で現状の小中学校の体制とほとんど変わらない、もしくは5、6年生を後期課程として中学生と統合すれば、4年生以下の生活に悪影響が出る可能性はないでしょうか。まだ実例の少ない義務教育学校を立ち上げるのであれば、幼稚園を含めた施設一体型として計画を進めるべきと思います。中途半端に施設分離型とするくらいなら、幼稚園と小学校をそれぞれ統合した方がまだ安心できると思います。施設一体型となると校舎の建設の問題が一番になりますが、現在のそれぞれの校舎も新しくないですし、施設分離型にしても改修が必要なのであれば、それらの建て替えや改修費を踏まえた上で施設一体型としての校舎建設を検討していただきたいです。とは言っても莫大な予算がかかる上、義務教育学校の立案がまとまるにはかなりの月日がかかるものと思います。岡山県初の幼稚園併設型義務教育学校も大事ですが、まずはそれぞれの幼稚園や小学校の園児や生徒が増えるように、今の幼稚園や小学校、中学校の魅力を上げることも考えていただきたいです。例えばなぜ昭和幼稚園だけ英語特区ではないのか、部活動や委員会をもっと充実させられないのか等、学校の魅力を上げる方法はあるのではないかと思います。生徒数が少ないから出来ないとされている事が、逆に生徒数を減らしている事もあるのではないでしょうか。長くなりましたが、昭和地区と維新地区を魅力的な学区にする事が五つ星学園のあるべき姿であると思うので、偏った考えにとらわれずに子供のためになる体制づくりをお願いします。現在の幼稚園や小学校、中学校に行かせたくても行かせられない家庭がいっぱいある事を知ってください。理由は様々と思いますが、そのような家庭を少しでも減らすことができればもっと充実した学区になるのではないでしょうか。
- ・校舎を残すこと前提ではなく、人数が少ないならばらばらではなく、同一敷地内で良い。
- ・ 複合型、統合化も念頭において学区外からの生徒や園児の受け入れを行なっていければいい。幼稚園に保育園の要素も有れば働く親御さんにとっても送迎の時間に余裕ができると思う。
- ・五つ星学園の良さ◎少人数制で先生の目が届きやすい◎英語特区という特徴◎縦割りの交流が深い◎地域とも交流が深い◎自然豊かで のびのびとしている◎学区外からも受け入れている◎昭和地区は美袋駅前に校舎がある交通の利便性◎昭和地区は駐車場がとめやすい◎幼 稚園未満はおひさまとの連携がとれる ネックな点×維新地区の交通の便×部活動の少なさ(人数が足らず成立しない部も)×あまりに少人数す ぎ×少数で役割が回らないためPTAなどの負担がある 「義務教育学校」にするのは今考えることとは思わない。とにかく分母を増やすことが昭 和、維新の地区にとっても学校にとっても一番の課題ではないかと思う。今総社市自体の市民が増えていることもあり、その移住者がこの地区を 選ぶような制度、PRが大事ではないかと思う。自分たちであれこれするにしても宣伝を上手くしないことにはいつまで経ってもその場で終わってし まうため、大々的に腰を据えて町全体で例えば「子育て専用の町」など、昭和、維新地区周辺の代名詞をつけ、PRする。そして宣伝したからには 町の開発を先行し、「管理された新しい公園」や「古民家の改修、貸出」「移住者への支援」など。学校ができることとしてはPTAでも意見が出た 通り、英語特区のアピールがとても弱い。実際に英語特区でされているカリキュラムは現代いろんな学校で大差なくされている。外人の先生を多く 雇うより今はパソコンを使ってオンラインで英会話を学習したり、時代に合った先進的な未来的な学習状況を整えたりするのも良いと思う。また、 移住者のターゲットとしては、オンラインで仕事をされている、在宅ワークをされている家庭、田舎暮らしをしてみたいという家庭、子育ては少人数 でやりたい家庭の需要を押さえてPRする。都会からの移住だとしても環境に馴染みやすいよう、公共施設の管理、新しさ、綺麗さをアピールでき るよう整える。など。また、維新地区の学校を廃校という案もあるが、今は文科相が企業と廃校舎のマッチングサイトなども作っており、校舎を残し たまま有効利用できるような可能性もある。例えば1~4年生の教室を企業へ貸出、その他は地域の人の集まる場所だったり、運動場は維新地区 の幼稚園生、小学生に解放したり、イベントで使ったりなど使い道はあると思う。感情論抜きで言うと、すべての校舎を今のまま残し幼小中と今の まま行くと確かに共倒れのような気がする。義務教育学校云々も、やはり地域活性を一通りやってみてからの方が良いように思う。
- ・学区外からの入園がないと見込んで児童数が減少すると仮定していますが、義務教育学校を考える以前にやるべきことがあるように思えます。何故、学区外からの五つ星学園入園に定員を設けているのかが分かりません。そもそも特区の目的は何だったのですか?保護者と地域と教育機関と市など行政のニーズがそれぞれどこにあるのかを率直に出すところから始めないと、話はできないと思います。実績校の報告などもなく、義務教育学校にするメリットもよく分かりません。一保護者からの意見としては、維新幼小と昭和幼小をまとめたところで、人数が飛躍的に増える訳ではなく、やはり学区外から来てもらうことを考え無ければ、費用や労力をかけて義務教育学校にしても、すぐに立ち行かなくなると思います。・維新だけでは少なすぎるので、昭和にまとめて、特区認定にする。・学区外から幼稚園に入れるのであれば、そのまま小学校へ進級する可能性が高く、おひさまを利用すれば、幅広い家庭環境から通える。・駅前立地と幼小同敷地の良さを考えると、昭和幼小にまとめるのが良い。・(義務教育学校にするメリットは今のところよく分からないが)小学校6年から中学校舎に移れば、中学進学の際に他校への流出が多少防げるかもしれない。・さらに、来てもらうために魅力をつくる。以前ひまわり学級枠の定員があると聞いたことがあります。むしろ、そこに人員を割いて、どんな子も一緒に学べることを目指してはどうでしょうか?義務教育学校となり、幼小の教員に余裕が出る分をそこに回せないでしょうか?現実は難しいと思います。でも、本気で今後のことや、世の中のことを考えると(AI時代がもうそこまでやって来ている中、人間は課題を見つけ探究する力を育てることが前提になります)、学校生活が魅力的なものになるために五つ星学園が発信できることが、あるのではないかと思います。

- ・もう少し子どもが増えるかなと思っていましたが、思っていたように増えなくて残念です。昭和幼に来たいと思ってくれていた学区外の方は断られたということも聞いています。昭和小に来て来てくれても中学校には地元に戻ったり、地元の子どもが部活動の関係で学区外へ行ってしまったりしている現状も悲しいです。子どもが少なくて仲が良くて先生も目の届いてよいと思う反面、子供の人間関係やコミュニケーション・学力UP(限られた人数での成績や順位等)はなかなか厳しいと思っています。沢山の子どもとふれあいながら、たくさんの刺激をもらえる環境が私はほしいと思います。
- ・昭和中学区内での統合ではなく、他学区との統合も検討してもらいたい。

<小学生の保護者(上に中学生がいる場合も含む)>

- ・幼稚園を維新小 小学校を昭和小 中学校をそのまま中1から中3
- 勉強などは少人数でもいいが、部活はしたくてもない部もあるので、違う学校に部活だけいけたりできたらいいと思う。
 - ・ 義務教育学校になると5、6年生が遠くへ行ってしまう。1~6年までが仲のいい学校!私はそんな維新小学校が好きです。昭和小学校と統合したとしても、義務教育学校という形は今の段階では賛成できません。
 - ・義務教育学校を設置する場合、施設一体型が理想だが、現実的には難しいと思う。昭和地区と維新地区を1地区とみなすのであれば、昭和、維新と区別をせずに1中学校、1小学校、1幼稚園がよいと思う。中学校は、現状のまま、小学校、幼稚園を維新へ統合する。その理由として、小学校の校庭が広いこと、先の豪雨災害でも維新小学校の立地から水に浸からなかったこと、国道からも離れており静かな環境で学習が出来ること、川遊び、農業体験などの郊外学習がしやすいこと等が挙げられる。昭和地区に中学校、維新地区に小学校を残す事により、両地区に公共施設を確保でき、避難所としても利用して可能となる。今現在、維新小学校では、1人だけの学年が2学年もあり、同性の同級生が居ない学年も3学年あり少人数すぎて集団生活や社会性を身に付ける事ができるのかと心配です。5年先などと言わず、早急な対応を望みます。
 - ・本ご提案は、学園長を始め学校関係者の総意であると維新学校長から伺いました。私が疑問を持ったのは、何が問題になっているのかよく理解できない。生徒数が減ることが問題なのか?学園長は学校教育課の職員でいらっしゃるから教員の人経費が問題なのか?人不足で教員の確保ができないことが問題なのか?まずは、きちんと問題を認識したうえでの判断をしたかったところです。市長は、学校の統合には、積極的な公約をされ、英語特区を設けて生徒数を確保されてきた歴史もあります。こう言った、取り組みは成果が出ていると思っています。幼稚園併設型「義務教育学校」の選択肢は、問題を複雑にしているだけ、海の物とも山の物ともわからないものを斬新だと説明していること自体、理解に苦しみます。統合したところで、生徒数に変化は無い訳ですから、人件費や学校運営経費の削減を求められているのでしょうか。
 - ・ 義務教育学校になっても今までと分け方を変えただけの様な気がする。それよりも地域を上げて、何か一つに的を絞りここでしか体験出来ないような特産品や文化を形成する。それと一部の地域住民だけでなく、昭和中学区全ての人が動く気持ちになる事が必要と考える。
 - ・ 義務教育学校になった場合、外部からの入学、入園の制限をもうけず、少し規模を大きくした学園を希望します。クラス替えができるぐらいの人数がいるといいです。
 - ・中3の受験シーズンには落ち着いて勉強をしてほしいので、同じ校舎に小学生がいたらどうしても騒がしくなると思うので、中学生は中学生だけの校舎が良いと思います。 あと、生徒数減少の事だけでなく、住みやすさ、便利さを重視し昭和地区の人口を増やす方向にする方が長い目で見て生徒数減少を抑えられると思います。施設(商業施設、医療機関)の拡充を行なってほしいです
 - ・ 学区外からの人員を確保する為には、駅から近い昭和学区に統合する方が有益だと思います。現在の昭和小への統合も下倉小が統合された 経緯もあり、交通の利便性は大きいと思います。
 - ・ 今現在、なぜ、特区から人が集まらなくなっているか考えるべき。この状態で形だけ変えても、特区からの人は集まらない。英語特区に期待してきた人達の不満足度の高さを考えたのか。特区できている人たちのロコミの力を侮っている。今の英語授業の程度の低さでは勧めることなど到底できない。昭和から転校したいほどだ。
 - ・住んでいる地域の中学と比べると、部活動の選択が少ないのが、親としては考える所。高校などはやりたい部活で選ぶことも多い為。少人数でも出来る部活で、特別の先生(地域の書道の先生とか?)がいるなど、部活動で選ばれる中学校であると、学区外からの生徒も見込める気がする。後は通学補助があると、更に魅力的に映る。
 - ・これからも革新的な事に挑戦していって下さい
 - ・このまま対策をしなければ、廃校になる可能性があると思います(特に維新小)。このため統合させることで、美袋地区に学校を残すようにすることは必要だと思います。
 - ・ 英語特区と言う優位性を打ち出せない現状では、学区外からの児童を獲得するのは難しいと考えます。児童数が減少する事が分かっているのであれば、学区外からの児童をどうすれば増やす事が出来るかを議論すべきだと思います。地域の家庭数、児童数を増やすのが難しい以上、特色ある教育を打ち出す必要があると思います。
 - ・学区外から通学していますが、英語特区としての活動を感じませんので魅力を感じません。階段に書いてある単語を復唱したり、定期的に変えて小テストをしたりするわけでもなく張りっぱなし。一般授業や日常でも英語なし。運動会や発表会の司会で急に英語で翻訳されても誰もわかっていません。パフォーマンスにしか感じません。英検講座はありますが、過去問をするそうですが、まず基礎力がないので、個人で勉強している子が受かるだけ。と感じています。今回の義務教育学校についても人数が少ないからよそから人を呼びたいのか、維新と昭和を統合させたいだけなのか、英語特区としてはどうなったのか、趣旨が今一つ不透明に思います。
 - ・ 少子化により、統合はやむを得ないとは思うが、義務教育学校にするのであれば、校舎を分けるメリットが分からない。異学年との交流というのであれば、尚更である。また、現在英語特区を謳っているが、まずその成果がどのくらいなのか分からない中、新しい試みをする意味はあるのか。まず、英語特区としてきちんと成果を出すことが先であると思う。現状、総社市内の他の小学校、中学校と比べて昭和地区の児童は英語が出来るのか、どの程度差がついているのかよく分からない。授業数さえ確保していれば、自ずと身につくものなのか、疑問である。昭和地区の児童数が減っていて、学区外からの受け入れ人数がある程度制限されている中で児童数を増やすのは困難であると思う。また、中学校へ進学してからの部活動の少なさも問題である。義務教育学校になり、小学生が部活動に参加したとしても、大会などに出られるのか、といった問題も出てくると思う。新しい事を始める前にまず、現状をきちんと把握すべきではないかと思う。(昭和小から他校へ進学した理由等についてアンケートは取ったことがあるのでしょうか?)
 - ・まず、このようなアンケートで保護者や地域の意見を聴く機会を作ってくださったことに感謝します。そして、義務教育一体型以外の選択肢がないのが残念に思います。義務教育一体型のメリットを読むと、今、昭和小で実現されている事ばかりのように感じます。その上で、さらにメリットなのは「岡山県下初」でしょうか。これは誰にとってメリットなのでしょうか。また学区外からの人にとっては、遠くに通わせるのはそれなりの負担で、このスパンを長く見なければならなくなるので、敬遠材料の一つになると感じています。なによりも、子どもを見て欲しいです。子どもが生き生きと過ごせる学校がどのような学校なのかを検討していただいてないのが、本当にさみしく感じます。英語特区の初年度は図工、音楽などインクルージョン教育で、英語で教えてくださっていました。子どもたちは本当に楽しくって、図工意味わかなんないけど、カットだよ!など、新しいものの見方に触れたような新鮮な感動を覚え多様でした。運動会では英語のラジオ体操、英語の競技紹介が恒例でした(なぜ今年はなかったのでしょう。)。わからなくても、少しでも多くの英語という異文化に触れる機会があるのが昭和小の英語特区だと思っていました。

また、規則は年々厳しくなっているように感じます(持ち物、筆箱の形も学年によって決められた。水着は、1年生は自由な水着でよかった。持ち物が厳しくなった、これらは学業に関係ないです。実際、制服もランドセルもない学校が授業に集中できてないか(都内の公立学校は全て自由です)といえばそうではなく、先生の技量と観念によるものと思いますがいかがでしょうか)。挨拶を子どもにさせたいなら、強制するのではなく、大人が気持ちいい挨拶をしていれば、自然と(1年や2年かかるかもしれないけど)それが気持ち良いことだと気づくのが、子どもの素晴らしい素直な心だと思います。世田谷の桜丘中学校や https://hugkum.sho.jp/100824 麹町中学校

https://www.itmedia.co.jp/business/articles/1810/22/news003.html いな小学校 https://president.jp/articles/-/28207 など、ご存知の通り、学校のスタイルを変えずとも、校長や市長のセンスで先進的な改革を行った事例もたくさんあります。子どもの自主的な考え るカや学び取る力、遊びの力(いわゆる探求する力、コミュニケーション能力や協働の力など)、その先に知力が自然とついてくると考えるのは、今 や世界的にスタンダードだと思います。自分たちで考え、話し合って、実現させる。それが成功しようが失敗しようが、実現まで、自分たちの手で行 えることの経験の積み重ねが、自主的な学びの力を伸ばすものだと考えられているからで、大学入試が変わったように、これからの少子化の社 会、こんな地方のさらに過疎化した小さな小学校ならなおさら、自分たちがどう生きていくかを小さいうちから身体で覚えることが大切だと思いま す。また先生方も、他の学校でこうだったから、規則でこうなっているから、という自主規制や様々なしがらみから一度離れて見て、子どもの育ちに 必要なものをもう一度一緒に作っていく良い機会だと思います。我が子に聞いても、怒らない教師は知らない、と言いますが、教師だから怒って 指導するのは当然、なのではなく、子どもを一人の人間として相対した時に、頭ごなしにパワーをかざして怒らずに、対話して解決する方法などを 検討していただきたいです。義務教育学校で何をしたいのか、カリキュラムが自由になるならどんなことをしたいのか、そこを話し合うならいいと 思いますが、それなくして、形だけの「県下初」の校長や先生になりたいために昭和小学校を使わないで欲しいです。子どもの心を見て欲しいで す。 例えば、昭和小学校は他の学校に比べ、ひまわり学級の子どもの数が多いと聞いています。 そのためにどのような教育をしたら良いか。全部 の子どもを同じクラスで学ばせることは不可能か?学区外から通ってくる子どもがいじめのターゲットになる例もあります。今までと違ったタイプの 子どもにどう接したらいいか。給食、センターになり、質も下がり、人数の少ない昭和小・維新小では冷めたものも多いです。こんなに地域で野菜 を作っているのに。特区で給食を自前にして、オーガニックの食堂タイプにし好きなものをとるバイキング方式にしたらどうか。(こうすることで苦手 なものも食べるようになった事例はいくらでもあります)座学中心でなく、「きのくに学園」のようにプロジェクト単位で授業を進めてはどうか。 れから世界の様々な人と出会う子どもの土壌を作るために 子どもにとって必要な学びが何か、それはイエナプランやスエーデンなどの先進国に 学び、子どもの幸福度(日本は確か最下位に近いと思います。昭和小も、だんだん下がってきている理由を考えたほうがいいと思います)をあげる

- ・ 少子化対策として『義務教育学校』を行う事が既に決まっているように受け取れました。『義務教育学校』は対策の一つとして成果が得られるのかもしれませんが、それ自体にわざわざ学区外から生徒を引きつけるほどの訴求力があるのだろうか?と感じました。まずはこの学区が外部の人からみて魅力的に映るもの、反対に昭和地区で生まれ育った方で住み続けている理由、出て行った理由など伺ってみたいです。また園児児童生徒数の推移は資料で確認できましたが、園児が減っているということは世帯数も減っている、高齢化が進行しているということでしょうか?でしたら、人口減少対策という視点も含めて対策を検討していく方がよりよいかと感じました。ちなみに我家は学区外から通わせておりますがきっかけは『おひさま』でした。
- ・ 仮に施設分離型義務教育学校になったとして初めの2~3年は話題性として一時的に子どもが増えるかもしれませんが、それ以後のことを考えると他の特色を考える必要もあると思います。例えば、部活動でよその部活にはないダンス部を作りダンス講師を招き強化していくなど。ダンスは男女ともに一緒になってできますし、さまざまな行事等にもお披露目できると思います。現に娘も娘の友だちも「ダンス部があればいいのになあ」と言っているのを何回か聞いたことがあるので。
- ・小学校で頑張ってきたスポーツの継続できるシステムを作って欲しい。中学にしたい部活がなく夢を絶たれるのはかわいそうだから。
- ・ 学区内での人数の増加は、正直厳しい事だと思っています。新たに地域外からのお子さんを迎え入れるには、受け入れられ易い形が良いのではと言う思いと、一度施設分離型にしてもその先で更に人数減少の厳しい状況になって行くのではと思うとこのタイミングでの思い切りが必要なのかなと思います。
- ・説明会参加出来ずすいませんでした。学区外ですが昭和地区大好きな場所です。なくならないでほしい、との思いはあります。ですが、統合して児童数が増えるのか、義務教育学校と児童数が確保できるのか。何が変わるのか何ひとつわからない議題です。こうすることによってこう変わるとか、はて?と思うような内容です。昭和、維新地区の児童数の家庭数は減るばかりだと思います。地区の児童数に対して学区外の児童数が・・と言っている時点で児童数は増えないですし、学区内の家庭においても魅力がないから地元には帰らん若い人が多いと思います。学校統合以前に魅力ある昭和維新を作ることが先決ではないでしょうか。私自身、過疎地と言われるところで子供の頃過ごしました。幼稚園は隣の学区へ、小学校は二階、中学校は三階の学校でした。小中一緒に学べるという感じだったんだと思います。新校舎として建て直ししましたが10年後には廃校になりました。私自身の学校の話で申し訳ないですが、向こう10年安泰と考えられますか?私は母校が無くなった人です。統合に反対では無いですし、学区外の人が前期後期制が中学受験、地の中学校にどう影響あるのか、考えるべきだと思うし、何より地元の児童数に期待が持てない以上昭和、維新だけでなく他の小学校と統合した方がいいのかなと思います。統合するなら町中そちらを考えるべきだと思います。魅力ある地区がなければ数年後には昭和、維新もスクールバスに乗って街中の学校へいくようになると思います。長くなってすいません。母校が無い人間にとっては無くなって欲しく無いと思うと同時にしょうがないと思うところがあります。例にもあった統合案、義務教育学校案で何年もつのか。IターンUターン学区外。帰りたい、来たい、行きたい。を考えないとどうにもならないかと。目の先を考えても存続はできないと思います。
- ・そもそも、義務教育学校ありきの問いに疑問がわきます。『五ツ星学園在り方検討委員会』のメンバー紹介。過去の議事録をつまびらかにした上で、選択肢の一つとして提案していただくのが筋ではなかろうか。各保護者への説明会を開くならば、意義ある時間とするために予め資料配布をし、説明会には市の担当者同席でしていただければ更に内容の濃い議論が可能であったのでは?市の方針・先生方の働き方改革を見据えての可能な活動範囲を提示していただいた上での開催ならば、保護者から要望や意見も出しやすいと思います。今の提示されているプランであれば、魅力が全く感じられない上に負担増。今後も生徒児童の増加は見込めないので、反対です。むしろ、英語特区を始めた時の気持ちを思いだし、今以上特色ある学校作り・英語教育に力を入れていただきたい。今の英語特区は名ばかりで他の小学校で英語教育が始まるとただ田舎の小規模小学校として埋もれてしまうばかりであると思います。遠距離通学、地元の友人と離れた学校へ通うに値する魅力を改めて作り直していただきたい。
- ・ 義務教育学校のメリットが今一つピンとこない。五つ星にこだわらず、ただ統合するだけではいけないのかなと思う。たくさんの市のお金をかけて整えても、少子化は進む一方で、生徒は限られてくると思う。英語特区もはじめのうちは良かったが、今では学区外の子どもたちも減少している。 少人数を求めてやってくる家庭もあるかもしれないが、今後もなかなか難しいと思う。
- ・ 英語特区として認定されてはいますが、昔ほど英語に力が入っているかというと疑問に思います。普段から英語に慣れる環境を用意し、慣れ親しめるようにしてはいかがでしょうか?他校と違い英語に特化することを強くアピールすることで、生徒確保にも繋がるかと思います。
- ・ 今までも人数が少なく、クラス替えのない環境で子どもたちは悩んだり、行き詰ったりする姿を見てきました。これ以上に少なくなる現実は、その点で絶望的です。市内の人数の多い学校との思いもありますが、地域の良さも否定できません。遠くまで通うのはせめて中学からと思います。考えがまとまらない状況です。
- ・素直に昭和小と維新小、昭和幼と維新幼を統合したらよいと思う。地元の人が地元で頑張れる環境づくりが必要。義務教育学校ができて喜ぶのは誰か。県下初という市や県の方だけなのでは?人数を増やしたいのなら今からでも受け入れを簡単にすれば少しでも増えます。以前は少人数が売りで目が届きやすいというのがありましたが、時間と先生の入れ替わりで違います。まずは、現状を見直し、どうしたらいいのか考えるべきかと思います。特区の時のような見切り発進はやめた方がいいです。人数が少なくてもちゃんと指導が行き届き、子供がのびのびと成長している学校であれば口コミでも人が増えるのでは?

<中学生の保護者>

- ・可能であれば、施設一体型の方が移動や行事の時にはいいと思います。兄弟がいる方は学年で施設が変わると大変なのかな?とも思います。 今はどうするのが一番いいのかはわかりませんが。
- ・子ども達が安全で、心も身体も健康的に過ごせ、学力も向上できるよい五つ星学園になりますことを願っております。よろしくお願いいたします。
- ・施設分離型でいいと思うけど、今後、子どもの数が、どんどん減ったら、施設一体型になるのかなぁーとも思うし。
- ・ 地域から学校が無くなるということがどういう事なのか…ということを、地域全体でしっかり考える必要があると思います。
- ・少子化なので、仕方ない思いもあるが少人数なりに幼小中の縦での関わりができるのが昭和の魅力ではないかと思う。
- ・設置に賛成。全小学校の英語必修化に伴い英語特区としてこれから学区外からの入学者が望めなくなった現状では、他に魅力的な特色を打ち出さない限り、生徒数の維持、拡大は難しいと思うからです。ご説明いただいた案は、今まで英語特区としてやってきた経験を活かしつつ今ある資源で苦境を乗り越える工夫が随所に盛り込まれていると感じました。5年生から中学校の校舎に移りより自立した人として扱われることは子供たちの育ちとも合っていると思います。ぜひこの段階で校則も管理・統制的なものから極力自らの選択に任せたものへと移行してもらえたらと期待しています。部活動について、小規模では選択肢が少なくそれを理由に昭和小では毎年他の中学校に進学してしまう話をよく聞きました。5,6年生から参加できるようになれば、人数も確保でき、また昭和中へ進学する動機も強まるのではと思います。制服については、義務教育学校にした場合、どの学年からどの学年までを統一デザインとするのだろうと疑問に思いました。私服とするのも自由なイメージをアピールでき、学区外から生徒を集められる要素になると考えます。制服が良いという意見が多いならばせめて女子にもパンツスタイルが選択できる配慮をお願いします。そのほかに思うことは、最近「AI vs. 教科書が読めない子供たち」という本を読み、教科書が読めていない子どもが多いことに衝撃を受けました。この本が反響を呼び、続編「AIに負けない子どもを育てる」も出ています。こちらも読んでみましたが示唆に富む内容で五つ星学園でも取り入れてほしいアイデアがたくさん載っていました。一部抜粋し添付いたします。(添付コピー) ぜひ先生方にもご一読いただけましたら幸いです。

<乳幼児・児童・生徒の欄が未回答の保護者>

・今回いきなりこの様なアンケートが来て大変驚いている。地域(自治会など)でこのような話題が上がったことがないからだ。これは地域からの声なのか?行政からの声なのか?経緯を明確にして欲しい。*問4は複数回答できなかった*問10:少人数を三か所に分離させる意味がわからない。義務教育学校のメリットを生かせないと考える。また、3施設を維持運営しスクールバス運行する等に値するだけの子どもの人数だとは思えない。*在り方の移行についてとても焦っているように感じる。有識者だけでなく、もっと丁寧に地域と保護者と意見をすり合わせて欲しい。

・中学校だけ分離

・中途半端な英語をせず、特区らしく他の授業も英語でする科目を増やしてもっと日常に英語をしてもらいたい。今は何が英語特区なのか分からず、地区外から通っている意味がないように思える。地区外から通うものとしては、昭和小は駅から近いから良いが遠いと通わせないと思う。

<考察>

昭和中学校区の少子化の問題は、待ったなしの状況ではないでしょうか。説明会や本アンケートを通して、園児児童生徒数がどのくらい減っているのか、その現状について保護者の皆様に知っていただき、「このままでよいのか」という課題の共有を試みました。五つ星学園の今後の在り方について、様々なご意見、貴重なご指摘を賜り、本当にありがとうございました。

保護者の皆様のご理解・ご協力・ご支援なくして、五つ星学園の在り方の見直しは進みません。学園としてそのお声をしっかりと受け止め、現状と課題、課題克服のための教育活動の工夫等に関する日々の情報提供・発信を今後も大切にする一方で、学園の在り方に関して保護者の皆様と話し合う場や、ご意見を伺うアンケートなどを重ねていきたいと考えます。また、問7によると、「何らかの統合」「両幼稚園・両小学校それぞれの統合」「義務教育学校化」を選んだ方を合わせると88%に上ります。学校の枠組み(配置)を見直す場合、保護者のみならず地域の皆様や行政のお力添えも必要です。今後も、保護者・地域・行政・学園の四者の連携を深めながら、話し合いやアンケートの取組等を進めたいと考えます。